

## ■ 概況

7/12~7/18のNYMEX・WTIは、68.06~71.01ドルの範囲で推移した。

7月19日は、サウジ高官の8月のサウジ原油出荷日量10万バレル削減見通し発言、ジェンスケープ社のクッシングの原油在庫取り崩し観測、トランプ大統領の利上げ反対発言によるドル安進行等により、3日続伸した。8月限の終値は前日比0.70ドル高の69.46ドルだった。

週末20日は、前日の要因に加え、トランプ大統領の欧州・中国等の通貨安誘導批判のツイートによる更なるドル安、ペカーヒューズ社の国内石油掘削リグ稼働数が858基（前週比5基減）の発表による供給過剰感の後退から、4日続伸した。8月限の終値は前日比1.00ドル高の70.46ドルだった。

週明け23日は、前日のイラン・ロウハニ大統領のホルムズ海峡封鎖示唆発言に対して、トランプ大統領がツイッターで「米国を脅すな」と反論したことから、地政学リスクの高まりが意識されたこと、英北海油田3箇所におけるストライキの開始等の要素はあったものの、米中貿易戦争激化の懸念や為替市場におけるドルの反転上昇、サウジ等産油国における増産観測等から、5営業日ぶりに反落した。この日から中心限月となった9月限の終値は前日比0.37ドル安の67.89ドルだった。

24日は、米国の官民石油在庫の取り崩し観測等供給過剰感の後退、中国の国内インフラ投資等による安定成長路線の発表による安心感等から、反発した。9月限の終値は前日比0.63ドル高の68.52ドルとなった。

25日は、EIAの在庫週報で、原油・ガソリンの在庫が予想を上回る減少を示したことから、続伸した。9月限の終値は前日比0.78ドル高の69.30ドルとなった。

アジアの指標原油である中東産バイ原油/東京市場（9月渡し）は、前週70.00~72.40ドルの範囲で推移した。7月19日70.70ドル、20日71.10ドル、23日71.30ドル、24日71.40ドル、25日72.90ドルで推移した。

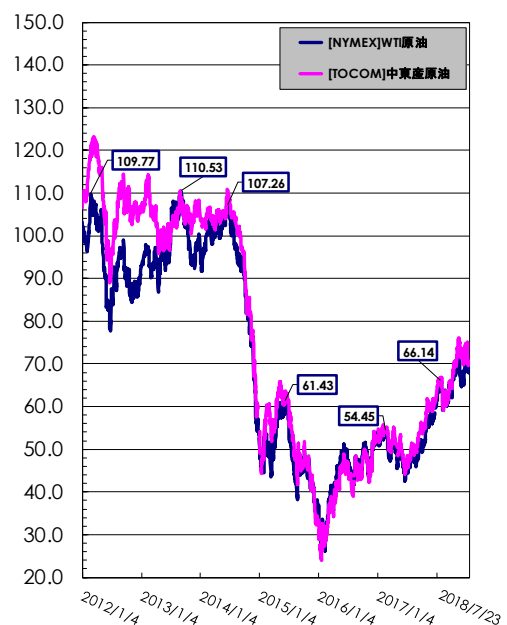
為替は、前週112.18~113.01円の範囲で推移した。7月19日112.76円、20日112.61円、23日110.96円、24日111.27円、25日111.30円で推移した。

主要元売会社の7月第5週に適用する卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、1.0~1.5円の値下げとなった。原油価格は大きく値下がりし、為替レートの円安がこれをわずかに相殺したが、原油調達コストは大きく値下がりがした。

そのような中で、7月23日時点の小売価格は、ガソリンが前週比横ばい、軽油も同横ばい、灯油は同1円（18%ベース）の値下がりだった。ガソリンは3週ぶりに連続の値上がり止まり、軽油も3週ぶりに値上がり止まり、灯油も14週ぶりの値下がりだった（18%ベース）。この週（7月第4週）の原油コストはわずかに値下がりし、元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに0.5~1.0円の値下げとなった。

| 原油 |                        | 今週          | 前週比           | 前年比     |
|----|------------------------|-------------|---------------|---------|
| 需給 | 原油処理量 (千kl)            | 7/15 ~ 7/21 | 3,458 ▲125    | ▼ -     |
|    | トッパー稼働率 (%)            | "           | 88.3 ▲3.2     | ▼ -     |
|    | 原油在庫量 (千kl)            | 7/21        | 13,225 ▼-286  | ▼ -     |
| 価格 | 中東産原油 (TOCOM) (\$/bbl) | 7/23        | 70.65 ▲1.00   | ▲23.4   |
|    | WTI原油 (NYMEX) (\$/bbl) | 7/23        | 67.89 ▼-0.17  | ▲21.6   |
|    | 原油CIF単価 (\$/bbl)       | 6月下旬        | 77.05 ▲0.27   | ▲24.92  |
|    | ①原油CIF単価 (¥/kl)        | "           | 53,391 ▲619   | ▲17,033 |
|    | ②ドル換算レート (¥/\$)        | "           | 110.16 ▼-0.88 | ▲0.72   |
|    | 外国為替TTSレート (¥/\$)      | 7/23        | 111.96 ▲1.48  | ▼-0.08  |

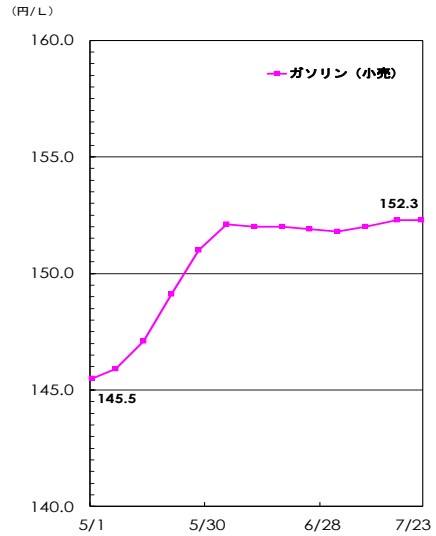
(\$/b)



(単位: 千kl、円/%)

| ガソリン |                            | 今週          | 前週比         | 前年比         |        |
|------|----------------------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 需給   | 生産                         | 7/15 ~ 7/21 | 1,077 ▲ 114 | ▼ -         |        |
|      | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.        |        |
|      | 出荷                         | "           | 1,043 ▲ 162 | ▲ -         |        |
|      | 輸出                         | "           | 38 ▲ 37     | ▼ -         |        |
|      | 在庫                         | 7/21        | 1,533 ▼ -4  | ▼ -         |        |
| 価格   | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 7/17 ~ 7/23 | 66.8 ▼ -1.4 | ▲ 17.1      |        |
|      | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 7/17 ~ 7/23 | 63.6 ▼ -1.5 | ▲ 14.3 |
|      |                            | (TOCOM/中部)  | 7/23        | 63.0 ▼ -2.1 | ▲ 13.2 |
|      | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 7/23        | 152.3 ➡ 0.0 | ▲ 21.2      |        |

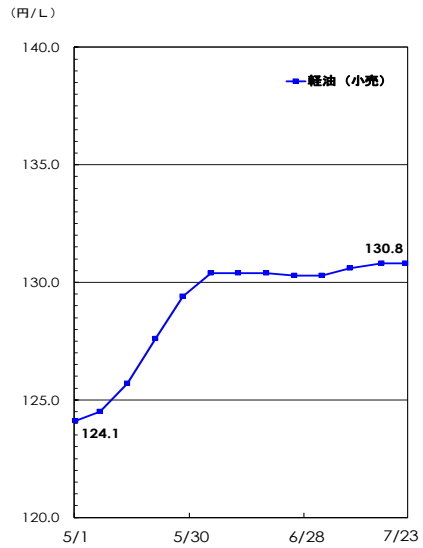
※業転、先物価格は税抜き価格



(単位: 千kl、円/%)

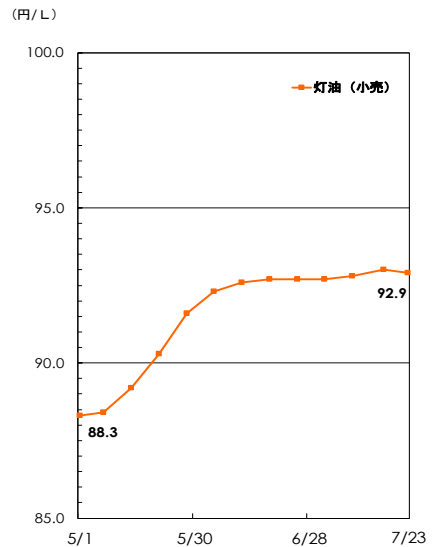
| 軽油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比         |        |
|----|----------------------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 需給 | 生産                         | 7/15 ~ 7/21 | 751 ▼ -83   | ▼ -         |        |
|    | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.        |        |
|    | 出荷                         | "           | 571 ▲ 2     | ▼ -         |        |
|    | 輸出                         | "           | 189 ▼ -34   | ▼ -         |        |
|    | 在庫                         | 7/21        | 1,446 ▼ -9  | ▲ -         |        |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 7/17 ~ 7/23 | 69.2 ▼ -0.7 | ▲ 21.2      |        |
|    | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 7/17 ~ 7/23 | 70.2 ▼ -0.8 | ▲ 22.2 |
|    |                            | (TOCOM/中部)  | 7/23        | -           | -      |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 7/23        | 130.8 ➡ 0.0 | ▲ 20.8      |        |

※業転、先物価格は税抜き価格



(単位: 千kl、円/%)

| 灯油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比         |        |
|----|----------------------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 需給 | 生産                         | 7/15 ~ 7/21 | 153 ▲ 31    | ▲ -         |        |
|    | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.        |        |
|    | 出荷                         | "           | 75 ▲ 14     | ▲ -         |        |
|    | 輸出                         | "           | 5 ▼ -20     | ▲ -         |        |
|    | 在庫                         | 7/21        | 1,620 ▲ 72  | ▼ -         |        |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 7/17 ~ 7/23 | 68.3 ▼ -0.9 | ▲ 20.8      |        |
|    | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 7/17 ~ 7/23 | 66.5 ▼ -2.4 | ▲ 18.5 |
|    |                            | (TOCOM/中部)  | 7/23        | 69.0 ▲ 0.8  | ▲ 21.6 |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 7/23        | 92.9 ▼ -0.1 | ▲ 16.8      |        |



■ 関連情報

1 海外/原油

7月25日のNYMEX市場WTI原油は、米国エネルギー情報局(EIA)の在庫週報で、国内原油在庫が4億490万バレルと2015年2月以来2年5ヶ月ぶりの低水準となり、前週比610万バレル減と市場予想(同230万バレル減)を大幅に上回る取り崩し、ドライブシーズンに入ったガソリン在庫も同230万バレル減と市場予想(同70万バレル減)となったことから、続伸した。ただ、為替市場でのドル高・ユーロ安が上値を抑えた。9月限の終値は前日比0.78ドル高の69.30ドル、10月限の終値は前日比0.82ドル高の68.01ドルだった。

EIAによると、7月23日時点のガソリンの小売価格は、前週比3.4セント値下がりの1ガロン2.831ドル(83.6円/ℓ)と

なった。ディーゼルは前週比1.9セント値下がりの3.220ドル(95.1円/ℓ)。ガソリンは4週ぶりの値下がり、ディーゼルは2週連続の値下がり。

2 国内/製品需給 (1) 出荷

石連週報によれば、平成30年7月15日~7月21日に休止したトッパー能力は23.8万バレル/日で、前週に対して1.8万バレル/日減少した(全処理能力は351.9万バレル/日)。

原油処理量は345.8万klと、前週に比べ12.5万kl増加。前年に対しては10.2万klの減少。トッパー稼働率は88.3%と前週に対して3.2ポイントの増加、前年に対しては2.6ポイントの減少となった。

生産は前週に比べてガソリン、ジェット、灯油で増産となり、その他の油種で減産となった。

ガソリン/11.8%増、ジェット/5.0%増、灯油/25.6%増、軽油/9.9%減、A重油/7.5%減、C重油/1.7%減。今週のC重油の輸入は1.9万kl(前週比0.8万kl減)。軽油の輸出は18.9万kl(前週比3.4万kl減)。

出荷(輸入分を除く)は、前週比ではA重油、C重油が減少となり、その他の油種で増加となった。前年比ではガソリン、ジェット、灯油が増加となり、その他の油種で減少となった。

ガソリンの出荷は104.3万kl(対前週18.4%増)と前週比で2週振りに増加となり、2週振りで100万klを上

回った。

(単位:千KL)

|        | 今週<br>(7/15 ~ 7/21) | 前週<br>(7/8 ~ 7/14) | 前週比         |
|--------|---------------------|--------------------|-------------|
| ガソリン   | 1,043               | 881                | ▲ 162 (18%) |
| ジェット燃料 | 139                 | 113                | ▲ 26 (23%)  |
| 灯油     | 75                  | 61                 | ▲ 14 (23%)  |
| 軽油     | 571                 | 569                | ▲ 2 (0%)    |
| A重油    | 179                 | 195                | ▼ -16 (-8%) |
| C重油    | 242                 | 259                | ▼ -17 (-7%) |
| 合計     | 2,249               | 2,078              | ▲ 171 (8%)  |

※今週出荷量=(前週末在庫+今週生産+今週輸入)-(今週輸出+今週末在庫)

2 国内/製品需給 (2) 在庫

7月21日時点の在庫は、灯油、A重油で積み増しとなり、その他の油種で取り崩しとなった。前年に対しては軽油が積み増しとなり、その他の油種で取り崩しとなった。

ガソリンは153.3万kl、前週差0.4万kl減。前年に対しては19.1万kl少ない。

灯油は162.0万kl、前週差7.2万kl増。前年に対しては11.6万kl少ない。

軽油は144.6万kl、前週差0.9万kl減。前年に対しては2.4万kl多い。

A重油は74.2万kl、前週差1.4万kl増。前年に対しては3.3万kl少ない。

C重油は195.7万kl、前週差4.8万kl減。前年に対しては6.6万kl少ない。

(単位:千KL)

|        | 今週<br>(7/21) | 前週<br>(7/14) | 前週比           |
|--------|--------------|--------------|---------------|
| ガソリン   | 1,533        | 1,537        | ▼ -4 (-0%)    |
| ジェット燃料 | 1,058        | 1,111        | ▼ -53 (-5%)   |
| 灯油     | 1,620        | 1,548        | ▲ 72 (5%)     |
| 軽油     | 1,446        | 1,455        | ▼ -9 (-1%)    |
| A重油    | 742          | 728          | ▲ 14 (2%)     |
| C重油    | 1,957        | 2,005        | ▼ -48 (-2%)   |
| 合計     | 8,356        | 8,384        | ▼ -28 (-0.3%) |

### 3 国内/製品卸売価格 (1) 元売会社 仕切価格改定動向

7月17日から7月23日の原油価格は前週対比で大きく値下がりし、為替レートの円安がこれをわずかに相殺したが、原油コストは大きく値下がりしたと見られる。

陸上スポット価格は、7月17日から7月23日までの間、ガソリン120円台でやや値下がり、軽油68～69円台で出入り後わずかに値下がり、灯油68円台でやや値下がりして推移した。

海上スポット価格は、同期間でガソリン123～124円台で

出入り後値上がり、軽油70～71円台で値下がり、灯油67～68円台で値下がりし推移した。

先物価格は、同期間で、ガソリン116～118円台で上昇後大きく値下がり、軽油69～71円台で大きく値下がり、灯油65～66円台で値下がりして推移した。元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、1.0～1.5円の値下げに分かれた。

### 3 国内/製品卸売価格 (2) 業転価格・先物価格動向

製品スポット市況は、全油種・全取引で値下がりした。

7月第5週(7月26日～8月1日)適用の元売卸価格に影響を与える直近の陸上スポット価格(7月17日～7月23日千葉、川崎、中京、阪神の4地区の陸上ラック価格平均値)は、ガソリンは1.4円の値下がり、灯油も0.9円の値下がり、軽油も0.7円の値下がりだった。東京湾渡しの海上スポット平均価格は、ガソリンが0.1円の値下がり、灯油も1.5円の値下がり、軽油も0.8円の値下がりだった。先物価格は、ガソリンが1.5円の値下がり、灯油も2.4円の値下がり、軽油も0.8円の値下がりだった。原油価格は大きく値下がりし、為替の円安がこれをわずかに相殺したが、原油コストは大きく値下がりした。

7月第5週の大手元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、1.0～1.5円の値下げに分かれた。なお、元売会社は、2010年から卸価格の改定に際して、原油や製品相場社仕切りなどの動向を総合的に判断する方式としたが、2014年6月から、原油調達コストをより重視する方式に変更した。

(RIM) (単位: 円/ℓ)

| [陸上ローリー4地区平均] |       | 今週 (7/17 ~ 7/23) | 前週 (7/10 ~ 7/16) | 前週比    |
|---------------|-------|------------------|------------------|--------|
| スポット価格        | レギュラー | 66.8             | 68.2             | ▼ -1.4 |
|               | 灯油    | 68.3             | 69.2             | ▼ -0.9 |
|               | 軽油    | 69.2             | 69.9             | ▼ -0.7 |

(TOCOM) (単位: 円/ℓ)

| [期近物/終値][平均] |       | 今週 (7/17 ~ 7/23) | 前週 (7/10 ~ 7/16) | 前週比    |
|--------------|-------|------------------|------------------|--------|
| 先物価格         | レギュラー | 63.6             | 65.1             | ▼ -1.5 |
|              | 灯油    | 66.5             | 68.9             | ▼ -2.4 |
|              | 軽油    | 70.2             | 71.0             | ▼ -0.8 |

※上記価格は税抜き価格

参考値 (7/17～7/23実績値) (単位: 円/ℓ)

| 油種   | 現物     | 先物     | 平均     |
|------|--------|--------|--------|
| ガソリン | ▼ -1.4 | ▼ -1.5 | ▼ -1.5 |
| 灯油   | ▼ -0.9 | ▼ -2.4 | ▼ -1.7 |
| 軽油   | ▼ -0.7 | ▼ -0.8 | ▼ -0.8 |
| A重油  | ▼ -0.7 |        |        |

(出所) 現物: RIM社陸上ローリー4地区平均価格

(千葉・川崎・中京・阪神)

先物: TOCOM京浜地区海上/バージ渡し平均価格

### 4 国内/製品小売価格

7月23日時点のSS店頭価格は、ガソリンが前週比横ばいの152.3円、軽油も同横ばいの130.8円、灯油は同0.1円安の92.9円(18ℓベースでは1円安の1,673円)だった。ガソリンは3週ぶりに値上がり止まったが、9週連続150円を上回った。軽油も3週ぶりに値上がり止まったのに対し灯油は14週ぶりの値下がりだった。都道府県別に、ガソリンの値上がりは13都府県、横ばい12府県、値下がり22道県だった。横ばいは、京都府ほか11県だった。

全国最安値は徳島県の145.9円(前週比横ばい)、次が埼玉県の148.2円(同横ばい)、最高値は長崎県の160.9円(同0.5円安)だった。最も値上がりしたのは、2.0円高の大阪府(153.0円)、最も値下がりしたのは、0.6円安の青森県(149.9

円)と福井県(152.9円)だった。

先週の原油コストはわずかに値下がりし、元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに0.5～1.0円の値下げとなった。今週の原油価格は大きく値下がりし、為替レートの円安がこれをわずかに相殺したが、原油コストは大きく値下がりした。次週(7月30日)のガソリンの小売価格は値上がり予想される。

(資工庁公表) (単位: 円/ℓ)

| [週動向] |       | 今週 (7/23) | 前週 (7/17) | 前週比    | 直近高値    |       |
|-------|-------|-----------|-----------|--------|---------|-------|
| 小売価格  | レギュラー | 152.3     | 152.3     | ➡ 0.0  | 08/8/4  | 185.1 |
|       | 灯油    | 92.9      | 93.0      | ▼ -0.1 | 08/8/11 | 132.1 |
|       | 軽油    | 130.8     | 130.8     | ➡ 0.0  | 08/8/4  | 167.4 |

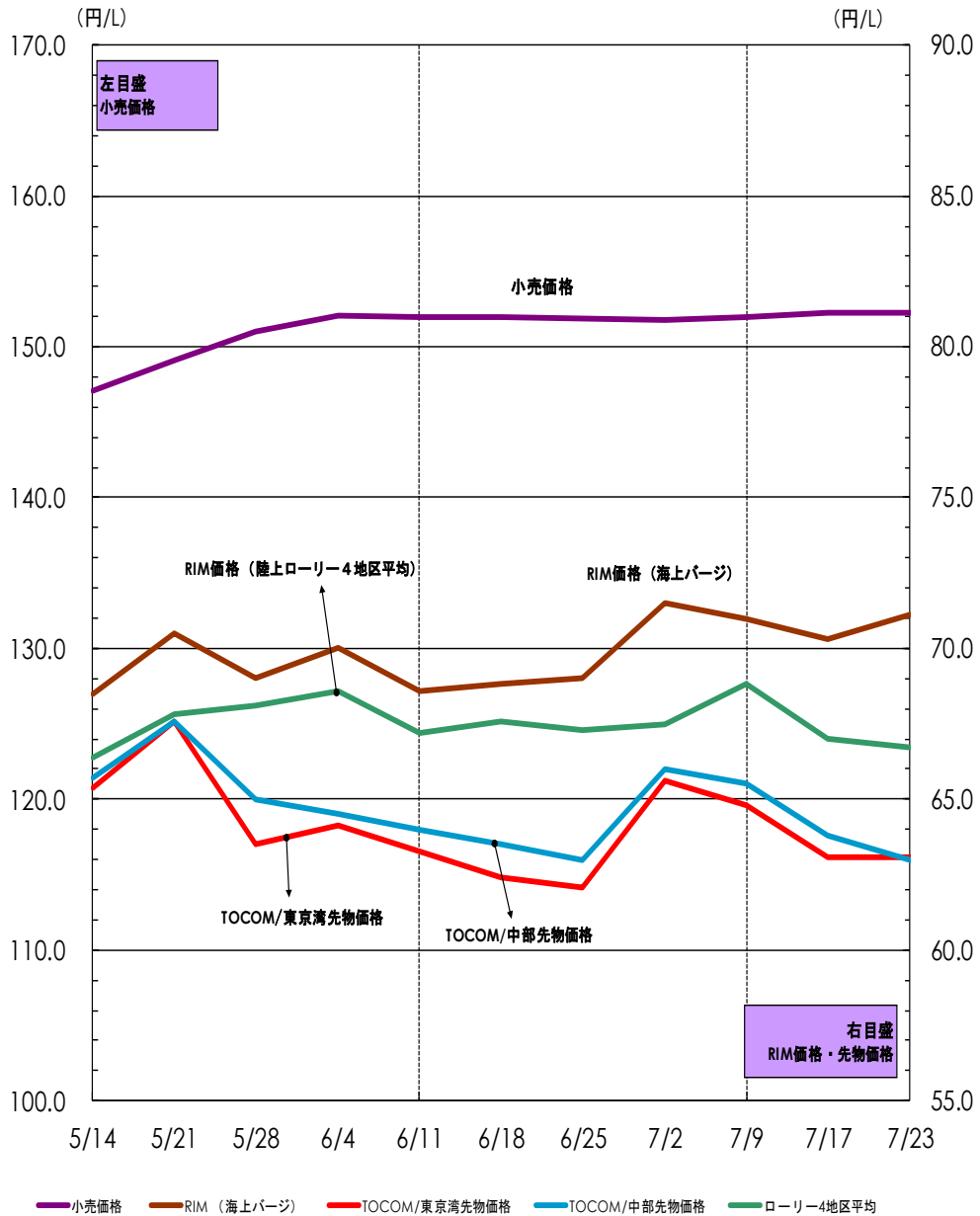
※現金一般価格の全国平均値(消費税込み)

07年4月以降2,000店舗を対象。

直近高値とは2003年10月以降の最高値。

# ガソリン価格推移

(2018/5/14 ~ 2018/7/23)



(注)①「小売価格」は消費税込みの価格 RIM価格・TOCOM先物価格は税抜き価格  
 ②RIM価格(陸上ローリー)は4地区平均価格

## ■ お知らせ

本レポートは当センターのホームページ (<https://oil-info.ieej.or.jp>) にも掲載しています。  
次回 (2018第17号) の公表は、8/3 (金) 14:00 です。

「セルフSS出店状況」(平成29年9月末現在) は、12月13日 (水) 14:00に公表しました。当センターのホームページをご覧ください。

### 本レポートのご利用について

本レポートについて、テキスト、グラフィックス及びその他の情報 (以下、併せて「ドキュメント」) に関わるすべての知的所有権は、一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター (以下、当センター) 又は当センターへドキュメントを提供している第三者へ独占的に帰属します。

当センターの事前の書面による承諾を得ることなく、ドキュメントを転用、複製、改変等の一切を固く禁じています。

また、ドキュメント内容に関しては万全を期していますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません。

### 「ウィークリー オイル マーケット レビュー」とは

平成16年5月に経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課 主催の「石油製品市場動向研究会」が取りまとめた中間報告で、「わが国石油産業における市場機能、価格発見機能が更に強固なものとなることが望まれるとともに、中期的な課題として、石油産業において確立していく市場機能、価格発見機能に基づく合理的な価格認識及びそれを踏まえた自己責任の下での経営判断の必要性について、石油産業関係者の認識が更に深まることにより、わが国の基幹産業である石油産業全体としての合理性、活力が一層高まることを期待したい。」と提案されています。

当センターでは、これを受けて石油連盟、全国石油商業組合連合会をはじめ関係機関等の協力を得て、石油関係者、企業の経営者層 (特に給油所経営に携わる方々) から一般消費者の方々に対し、原油・石油製品需給や価格動向を的確に理解するツールの一つとして、「ウィークリーオイルマーケットレビュー」を平成17年5月より定期的に発信しています。

### 本レポート掲載データの出所について

#### ①【原油・石油製品需給】〈石連週報〉

石油連盟 (石連) 「原油・石油製品供給統計」週報データを千KL単位に換算して採用。

「出荷」は当センターの推計。

#### ②【原油・先物価格】〈WTI原油、中東産原油〉

WTI原油は、ニューヨーク商業取引所 (New York Mercantile Exchange : NYMEX) WTI原油先物の期近物・終値を採用。

中東産原油は、東京商品取引所 (The Tokyo Commodity Exchange : TOCOM) 中東産原油の期近物・終値を採用。 ※「二番限 (翌月限)」

中東産原油は、ドバイ原油及びオマーン原油の平均価格を指標としている。為替換算レートとして、三菱東京UFJ銀行発表TTM (Telegraphic Transfer Middle rate : 中値) を採用。

原油CIF単価は、財務省貿易統計「原油・粗油平均CIF単価」(旬間値) を基に、石油連盟が試算したドル表示の参考値を採用。

#### ③【国内製品・元売仕切価格】

元売仕切価格は、元売会社 (一次卸) と系列特約店など (二次卸) との間で売買される卸価格。

元売会社は、平成22年4月以降、現行の新価格体系を見直し、原油や製品相場、他社仕切りなどの動向を総合的に判断し、具体的方針を決める方式に変更。さらに平成26年6月以降、原油コストをより重視する方式に変更している。

#### ④【国内製品・業転価格】〈RIM業転〉

国内陸上ローリー価格は、リム情報開発株式会社 (RIM) 「LORRY RACK・レポート」の東京、川崎、中京、阪神の4地区の平均値を採用。

#### ⑤【国内製品・先物価格】〈TOCOM〉

TOCOM 東京湾 及び中部石油製品期近物・終値を採用。

TOCOM東京湾は京浜地区海上バージ渡し価格 (平均値)、TOCOM中部は中部地区陸上ローリー渡し価格 (平均値)。

#### ⑥【国内製品・小売価格】〈週動向調査〉

約2,000 SSを対象に週次ベースのSS店頭における現金一般価格の全国平均値を採用 (資工庁公表)。毎週 (月) 時点の価格を調査し (水) 14:00に公表 (資源エネルギー庁-HPIに掲載)。